

C-44 短大家政科の被服構成及び実習に関する研究(オ3報)ブラウス縫製時間調査
名古屋女大家政生研 荻野千鶴子 ○古川智恵子 加藤恵子 菅川琴江

目的 一報に引き続き同様の目的で前報において、高校における履習課程による被服に関する能力差について発表した。今回は能力に応じた指導効果を研究する資料にするため基礎的教材ブラウスの作成を試み、縫製時間の分析を行った。

方法 1: 本学における授業時のブラウス作成の時間および工程の分析。
2: 本学学生12名を被験者として同型同寸のブラウスを作成させ、時間測定を行ってこれを分析した。

結果 1: 授業時におけるブラウス作成総時間には、本作業とこれに付随する準備や始末の時間のほか、いずれにも属さぬ時間があった。

2: 縫製工程順序と手法の違いにより時間差がみられた。

3: 被験者12名にブラウスを作成させた結果

1) 普通課程出身者と家政課程出身者を比較した結果、家政課程出身者の方が短時間で仕上げた。

2) 個人的に時間差の多い箇所は衿つけと袖つけであった。

3) 未熟者においては準備に多くの時間を要し、そこに時間的浪費がみられた。